

3

ここはイギリスの、とあるいなかの村です。

ここに、ジャックという少年が、母親と二人で暮らしていました。

ジャックの家には、牛が一頭いました。

ジャックは毎日、牛からしぼったミルクを町でお金に換えて、食べるものを買っていました。

しかしある日、急に牛がミルクを出さなくなりました。

母親は、牛を手放すことにしました。

「ジャック、町へ行って、牛を売ってきておくれ」

「うん、わかった。ぼくに任せてよ！」

ジャックは、牛を引いて町へ向かいました。





ジャックが歩いてると、一人のおじいさんに声をかけられました。

「おい、ぼうや。いい牛を連れてきているね。どこへいくんだい？」

「牛を売りに、町の市場にいくんだ」

「なるほどな。ぼうや、君の連れてきている『牛』と、この『豆』を取り替えないか？」

おじいさんはかばんから、三つぶの豆を取り出し、ジャックの前に差し出しました。

「これはただの豆ではない。この豆は『魔法の豆』だ。幸せを運ぶ豆だぞ」

ジャックは、なぜかこの豆がほしくて、がまんができなくなっていました。

ジャックは、牛と豆を交換しました。





Once upon a time in a rural village in England, there lived a boy called Jack, who lived with his mother.

They were very poor, and only owned a cow.

Everyday, Jack milked the cow and sold the milk in the town to buy their food.

However, one day the cow suddenly stopped producing milk. So the mother decided to sell the cow.

"Jack, could you please go to the town and sell the cow?"

"Okay, sure! Leave it to me!"

Jack left the house with the cow.





On their way, a strange man asked him,

“Hey, boy. You have a very nice cow there.

Where are you going?”

“I’m going to the market in the town to sell this cow.”

“Right, I see. How about this, would you exchange your cow for this bean I have?”

The man took out three beans from his bag and showed them to Jack.

“These beans aren’t usual beans. They are magical beans, they bring peace and happiness to you.”

Jack couldn't refuse his curiosity and so he decided to swap his cow for three beans.

